

REPT

NPO 法人 新エネルギーを すすめる宝塚の会

No.11

2015年1月23日発行

理事長：中川慶子

〒665-0875

宝塚市中筋山手 3-2-10

(TEL/FAX0797-88-1381)

<http://rept.or.jp>

～新エネルギーで自然共生のまちづくり～

講演会報告

12月5日、市民企画支援事業として助成金を得、宝塚市立男女共同参画センターフェスティバルで講演会を開催しました。講師をお願いしたのは高知県梼原町職員的那須俊男さん。梼原町は20世紀の終わり頃から、自然エネルギー利用の推進により町おこしをしています。パイオニアの知恵や工夫やご苦労を伺い、私たちのこれからの活かしたいという企画です。



講演会当日那須さんは、早々と訪れた寒気のため四国の山々に雪が積もって出にくい中、宝塚まで駆けつけてくださいました。「梼原町は高知県といえども愛媛の方からも来やすいです。道後温泉のついでにお立ち寄りください。四万十川源流域に位置し、自然が豊かで、坂本龍馬の脱藩の道筋という歴史的にも有名なところ」とまずは梼原町の観光アピール。

続いて、十数年にわたって展開してきた再生可能エネルギー利用と、地場産業（林業・農業）の振興事例を説明してくださいました。風況がよいので日本で一番高いところに位置する風力発電所を建設、その利益で町民宅の太陽光パネル設置や森林事業の助成。地場の木材を利用して省エネ建築の町役場を建設。間伐材利用のペレット製造工場の立ち上げなど、バイオマス事業の地域システム作り。堆肥作りから循環型農業の活性化。学校や街灯の電気を小型水力で発電。などなど。

町長と職員が協力して過疎化が進む町をなんとかしたいと、積極的に補助金を運用し、再生可能エネルギー利用促進を町の産業に結びつける努力が結実してゆくさまが目に見える話ぶりです。その分職員の仕事は膨れ上がり、『環境モデル都市』の報告書作成など本当にしんどいと、本音もチラリ。ですが、循環と共生の思想に裏づけられた実践は、やる気を起こさせたに違いありません。

ただ、那須さんのお話を聞いて、再生可能エネルギーを市民主導・市民出資ですすめてゆきたいと考えている私たちとは、正直、立ち位置が違うなあ、と感じました。行政主導で補助金による事業だから、行政マンの那須さんにこうして講演していただいているわけで、私たちの参考にはなりにくいと。ときに「田舎の人はやはり保守的で…」と町民の協力が少なかったとも。

だが、何十年も原発に反対してきた立場からすれば、どうして原発立地町村が、産業がなく過疎化が進むというところで、中央と産業界から押しつけられた原発を受け入れてしまったのか！

それを押し返す方法として、自分たちの町村には、空も広い土地もある、森林もあれば、風も吹いている、海も川も農業用水路も利用できると、あるものを数えて梶原町のように自然エネルギー利用の方向に進まなかったのか！ 今さらながら残念でなりません。もちろん都市住民も「もっと！もっと！エネルギーを」と欲望に目が眩んでいたのですが。

基礎自治体のリーダーや職員の志や資質がいかに大切かが那須さんの話から見えてきます。宝塚市でも私たちは何度も環境に関して行政にいろいろな「提言」を行ってきましたが、市民の「文句」を聞く耳持たずの状態が続きました。この頃やっと変化の兆しが現れてきています。基礎自治体の職員として、できる限りをやってこられた那須さんの話に学ぶところはやはりたくさんありました。

私たちはずっと前に岐路に立っていた（その時点に時間のネジを巻き戻したい！！）のだが、選択を誤って、取り返しのつかない福島第一原発事故が発生した。今ここでしっかり方向を見極めなければならないときに、またしても誤った選択をしてはならない。安全で本当に経済的なエネルギーの選択が可能であることを、もっともっと伝えていかななくてはと思います。

金曜日午後は参加者が少ないかと心配していたが、他会の会員や、チラシを見てとか、フェスティバルのついでに覗いた方など、初めての参加がかなりありました。アンケートの「よい話が聞けてよかった」「自分に何ができるか考えたい」という率直な意見も励みになりました。（たなか）

新築公共施設を限りなくゼロエネルギーに！

要望書を出して担当課と話し合いました

阪急が運営していたガーデンフィールズの跡地の一部を宝塚市が取得し、手塚治虫記念館と一体化して市民が憩える公園にするというニュースが流れました。そうなれば拠点施設が建つことになるでしょう。

また、NTN 跡地の一部を市が取得し、老朽化した水道局を新築移転する計画、そして耐震性が脆弱で老朽化した中央公民館を末広中央公園の一部に新築移転する話も出てきました。

今がチャンス！「再生可能エネルギーの利用の推進に関する基本条例」に則って限りなくゼロエネルギーに近い建物を作ってもらわなければ。「みんなでつくろう宝塚エネルギー」のシンボルが必要です。

去年の秋からそれぞれについて具体的な項目を上げて要望書を出し、担当課の方たちと話し合いました。現在庁内で検討会が持たれている最中とのことですが、鋭意努力してもらい、市民の誇れる省エネルギー・創エネルギーの建築をと期待しています。（なかがわ）

お知らせ

中嶋哲演さん講演会 ～第30回2・11ぶっ飛ばせ軍国風～

日時	2月11日（水）14：00～16：00（13：30 開場）
会場	宝塚市立西公民館
講師	中嶋哲演さん（大飯原発運転差し止め訴訟原告・代表）
演題	大飯原発訴訟住民勝訴の意義と日本の現状

グリーンパワー大学2014@東京大学 (2014年12月20日~21日)



経産省が行なっているグリーンパワープロジェクトは、日本各地で「まちエネ大学」というものを展開している。私は、2013年の秋からスタートした滋賀スクールに一月に一回の割で通った。再エネを普及していこうとしたときに、事業者だけではなく一般の人たちにも参加してもらおうという狙いだったかと思う。実際は事業化までの検討という、やたらとハードルの高いものであったけれど、そこ

でつながりができた事務局から推薦を受け、東大で開かれたシンポジウムに登壇。そこで私たちの取り組みを発表してきた。私たちの強みは、なんといっても自分たちの足でしっかりと立ち自主運営をしていて、試行錯誤しながらでも事業を進めているところ。補助金ありきで始めた事業ではないので、いろんな人への協力を仰ぐことができた。むろん、地元の宝塚市との連携を大事にしてきたことも多くの地域の方に高く評価されている。補助金をもらわないつながりというのは、実はもっとも大変なことである。金の切れ目が縁の切れ目にならないから、かえって怖いという人もいる。長くやってきた市民運動の中で、私たちはネットワーク型連帯というものに重きを置いてきた。今回、自分のいる場所で精一杯の努力をしながら、みんなでまちづくりをしていくことの大切さを伝えたのだが、会場内に時折爆笑の渦が起きる。なぜなのだろうと首をかしげた。後からいろんな方に声をかけられたのだが、「元気が出た」「関西パワーはすごい」といったものがほとんどだった。そして、一番喜んでいたのが経産省の役人の方たちだった。何度も頭を下げて「本当に良い話を聞きました。ありがとうございます」と言われ、こちらがびっくり。そして思った。私たちのやってきたことが、「この方法が良い」と認められたのだなと。そして、あなたたちが良いと認めたなら、私たちはもっともっとやっていきます、何があっても進めますよと念を押したくなった。最後に私が言ったのは、「大人としての責任を果たそう」ということだ。今の世の中を作ってきたのは私たちなのだから、きちんと次世代に渡せるものを作って行こう。それが私たちの仕事であることを伝えると、頷いている人があちこちにいた。未来を考える努力を怠ってはいけない。

グリーンパワー大学の次の日、訪れたのは愛知県新城市。自治体として再エネ条例制定をいち早く行なったところ。条例の大切さに触れ、これがまちづくりの礎になることを教えてもらった。それが、今度は私が「市民共同発電づくり」について話をしに行くという、実に感慨深いものがあるセミナーとなった。新城市はどんどん再生可能エネルギー導入を進めている。あとは、行政主導ではなく地域住民をいかに巻き込んでいくか、そこが問われている。(イノウエヤスコ)

コープ自然派兵庫 西宮新センター屋根に太陽光パネル設置

12月26日から最高発電量 22.5kWh での発電を開始しました。



めぐり合わせ・ご縁・タイミング・そして必然も！今回は新エネルギーをすすめる宝塚の会そして生活共同組合コープ自然派兵庫、両方の理事として関わる私がパイプ役としてお手伝いしました。生協とは

自発的な組合員（市民）の出資金による事業です。そのため少し時間はかかりましたが、組合員による総代会決議を経て、全量買取制度 37.8 円も滑り込みセーフでゲット、自然派兵庫 発電所の誕生となりました。たくさんの寄付はできなくても、何処に身を置くかで新エネへの想いをのせることはできます。今回はそんな意味もあったと感じています。もちろん、能動的にお金を活かせる方には現在 REPT で募集中の『共感寄付』目的を持った寄付への選択をぜひお勧めします。そんなこんな色々な繋がりで新エネ増をめざします。今年も REPT の活動範囲、役割はますます拡がりそうです。最後に申請、設置工事にはこれまでもお世話になっている、いたみワーカーズコープさんに施工いただくことができました。こちら感謝と信頼です。

～初売りや お安くしまっせ 笑エネを～ 大森

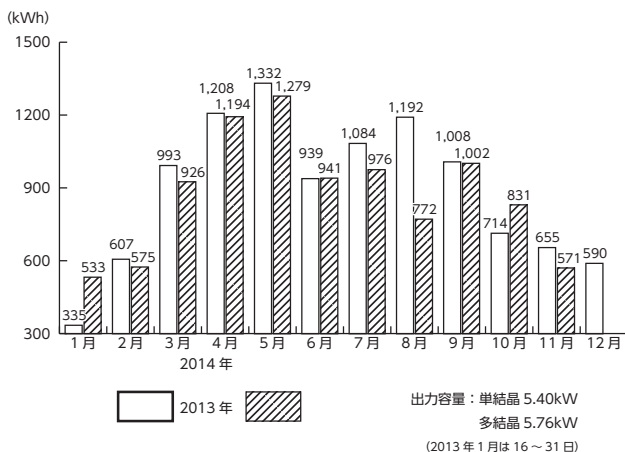
御礼とお願い

前回のニュースに同封させていただきました「共感寄付」にご協力いただきました皆様、ありがとうございました！でも、まだまだです。締め切りは2月末です。

「宝塚すみれ発電所第5号」に協力してやろうとお思いの方はどうぞお振込みください。よろしくお願い申し上げます。



宝塚すみれ発電所 第1号 発電実績



宝塚すみれ発電所 第2号 発電実績

